

室内用レバーハンドル キャラクター アンティーク



TXS-W20C-NB

わんにゃん レバーハンドル & フック



幾何学模様をアレンジしたアール
デコタイプと植物の蔓からデザイン
されたアールヌーボタイプ。
クラシカルな印象が特長です。



古代NEO



イヌとネコのしっぽがレバーハンドルになった
わんにゃん。バックセット違いに対応できる
2サイズ展開で、円筒錠(ドアノブ)からの交換
も可能です。

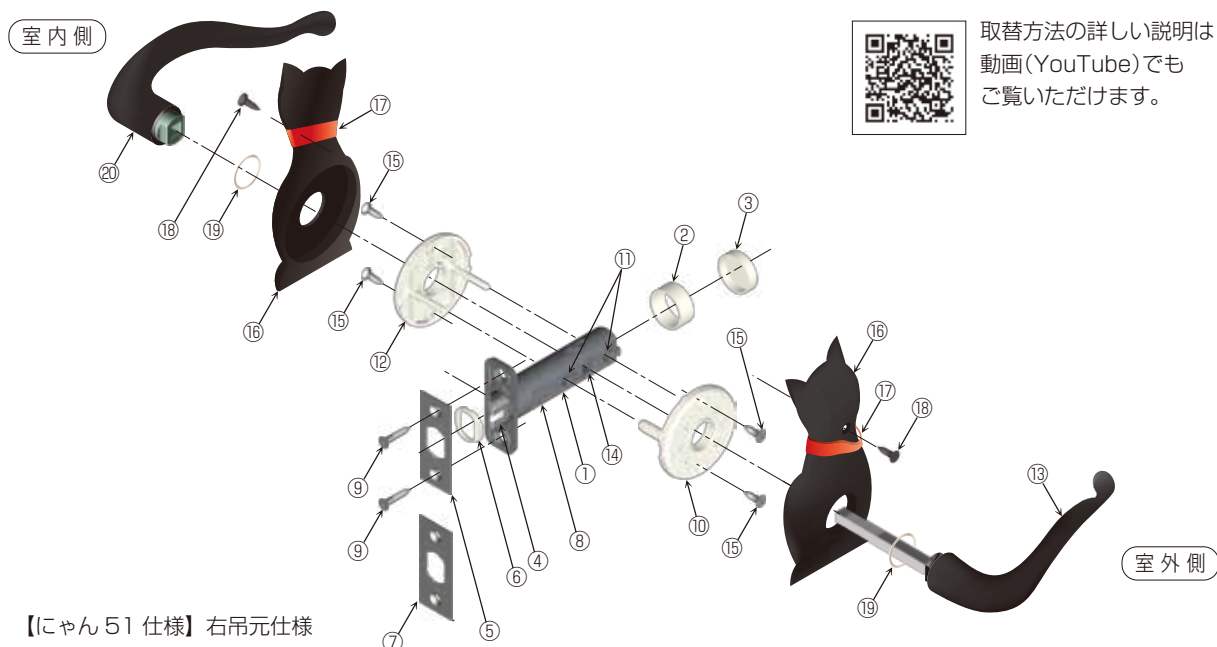


HOW TO EXCHANGE 2

毎日使うものだから、個性と存在感あふれるレバーハンドルに。

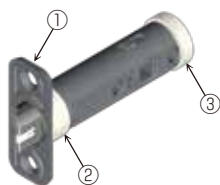


レバーハンドルの取付方法を、取替最適品『にゃん51』を例に説明します。座カバーの取付方法が変わるだけで、TOMFUやreのW座も同じ方法でお取り替えできます。取り付けの際は、必ず手動プラスドライバーをご使用ください。



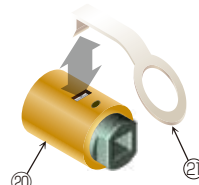
【にゃん51仕様】右吊元仕様

A：φ24 リングの取付方法



φ24リング②は錠①の先端まできっちりセットし、φ24リング③は錠①の後部にセットします。隙間がないように、はめ込みます。

C：ワンタッチレバーの取り外し方



解除ブッシュ②またはマイナスドライバーを図のようにレバー②裏面の穴に差し込んだ状態で角芯棒付レバー⑬を抜き取ります。

A：吊元の確認と錠の取り付け

1. 錠①の筒が入る扉の穴径がφ24mm時は、φ24リング②③を錠に取り付けます(左上『A：φ24リングの取付方法参照』)。
2. 「左吊元」の場合は、錠①のラッチボルト④を廻してあわせてください。
3. フロント板⑤にラッチブッシュ⑥をセットします。
※ 25mm 幅フロント板⑦を使用するときは、22.5mm 幅フロント板⑤からラッチブッシュ⑥を外して取り付けます。
2. 錠①を矢印⑧を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
3. 錠①とフロント板⑤または⑦をあわせて、固定ねじ⑨2本で取り付けます。

B：座の取り付け

1. 室外側補強座⑩の脚部を錠ガイド穴⑪に差し込みます。
2. 室内側補強座⑫の脚部を室外側補強座⑩の脚穴へ差し込みセットします。
角芯棒付レバーハンドル⑬を錠角穴部⑭へ仮セットし、錠①が正常に作動することを必ず確認して下さい。
レバー⑬の仮セットで補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。
3. 補強座⑩⑫を、固定ねじ(L=13)⑮4本で取り付けます。
4. 仮固定のレバー⑬をはずし、座カバー⑯をセットします。
5. 首部のゴムバンド(首輪)⑰をずらし、固定ねじ(L=20)⑱2本で取り付け、すずを首輪⑰にセットします。

C：ワンタッチレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑬にスペーサー⑲を入れて、錠角穴部⑭に差し込みます。
2. 反対側レバーハンドル⑳にスペーサー⑲を入れてセットしてください。
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は右上『C：ワンタッチレバーの取りはずし方』を参考にゆめ、適正な位置にあわせてご使用ください。



わん 60



GT



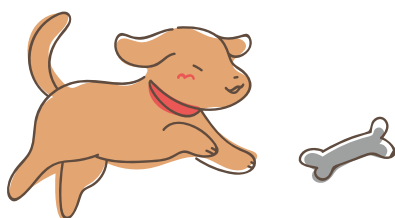
WB



NB

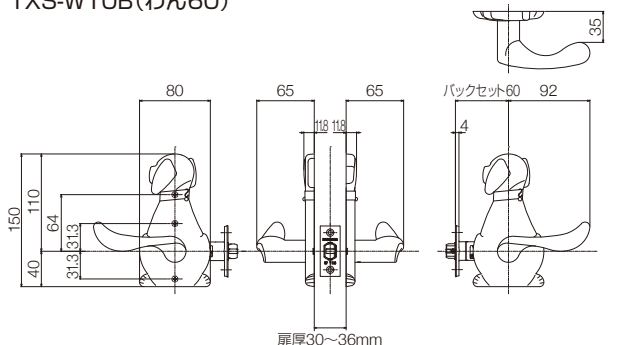
TXS-W10B

円筒錠からの取り換えにも対応できる大きめの座が特長です。
バックセット 51mm 仕様もあります。(P52 参照)



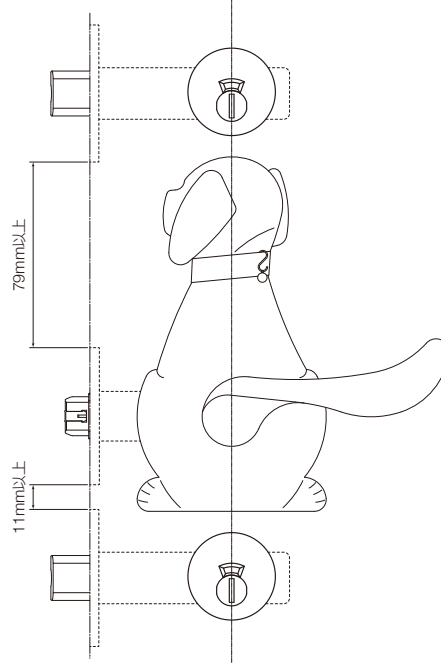
© 2016 Illustration by ryouzen

TXS-W10B(わん60)



錠のフロント板(2枚入): W22.5×H57mm、W25×H57mm

●鍵が必要な場合は、リヴィエール本締錠(P66)、間仕切用本締錠(P67)、表示用本締錠(P67)と組み合わせてご使用できます。
本体と本締錠が干渉する場合があるため、わん 60 との組み合わせ時は、本体の上部に本締錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が 79mm 以上、本体の下部に本締錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が 11mm 以上あることを確認してください。
他社の本締錠をご使用の場合は、本図の寸法をご確認いただき、干渉にご注意ください。



- 材 質：亜鉛合金(レバーハンドル)
- 仕 上：GT(チタンゴールド)メッキ／WB(ホワイトブロンズ)メッキ
NB(つや消し黒)塗装
- 標準扉厚：30～36mm ■レバーハンドル操作角度：25度
- バックセット：60mm



にゃん

60



GT



WB



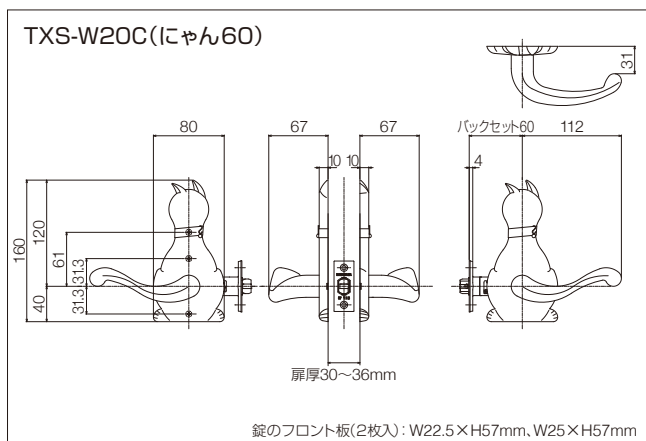
NB

TXS-W20C

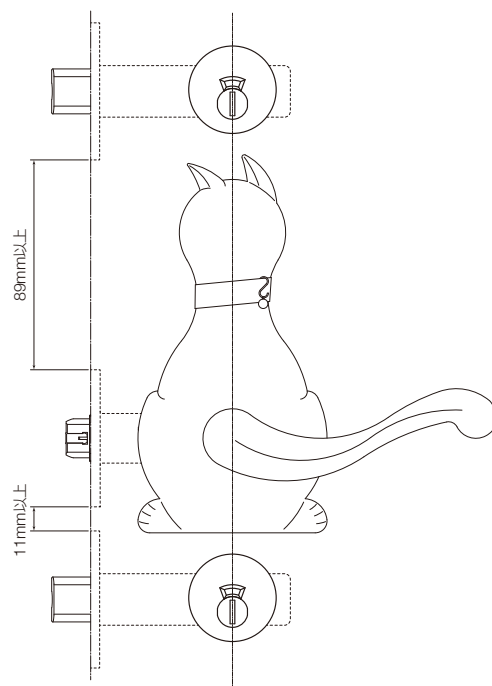
円筒錠からの取り換えにも対応できる大きめの座が特長です。
バックセット 51mm 仕様もあります。(P53 参照)



© 2016 Illustration by ryouzen



- 鍵が必要な場合は、リヴィエール本締錠(P66)、間仕切用本締錠(P67)、表示用本締錠(P67)と組み合わせてご使用できます。
- 本体と本締錠が干渉する場合があるため、にゃん60との組み合わせ時は、本体の上部に本締錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が89mm以上、本体の下部に本締錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が11mm以上あることを確認してください。
- 他社の本締錠をご使用の場合は、本図の寸法をご確認いただき、干渉にご注意ください。





わん 51



GT



WB



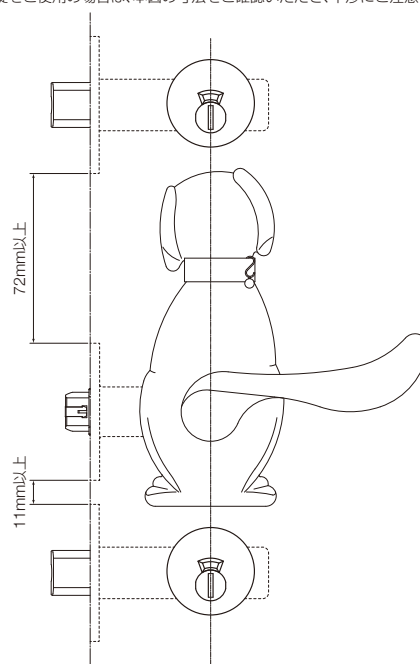
NB

TXS-W10D

バックセット 51mm の錠に取り付けられるように、座が細身にデザインされています。

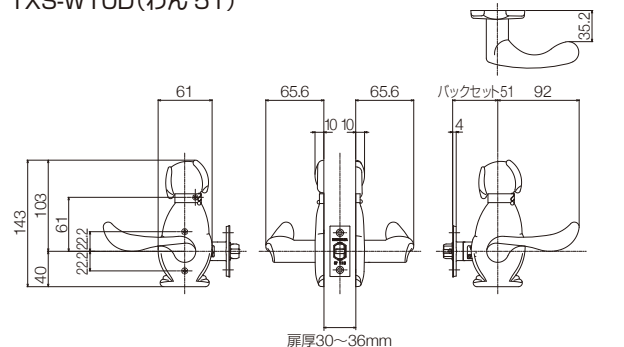
バックセット 60mm 仕様もあります。(P50 参照)

●鍵が必要な場合は、リヴィエール本締錠 (P66)、間仕切用本締錠 (P67)、表示用本締錠 (P67) と組み合わせてご使用できます。
 本体と本締錠が干渉する場合があるため、わん 51 との組み合わせ時は、本体の上部に本締錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が 72mm 以上、本体の下部に本締錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が 11mm 以上あることを確認してください。
 他社の本締錠をご使用の場合は、本図の寸法をご確認いただき、干渉にご注意ください。



© 2016 Illustration by ryouzen

TXS-W10D(わん 51)

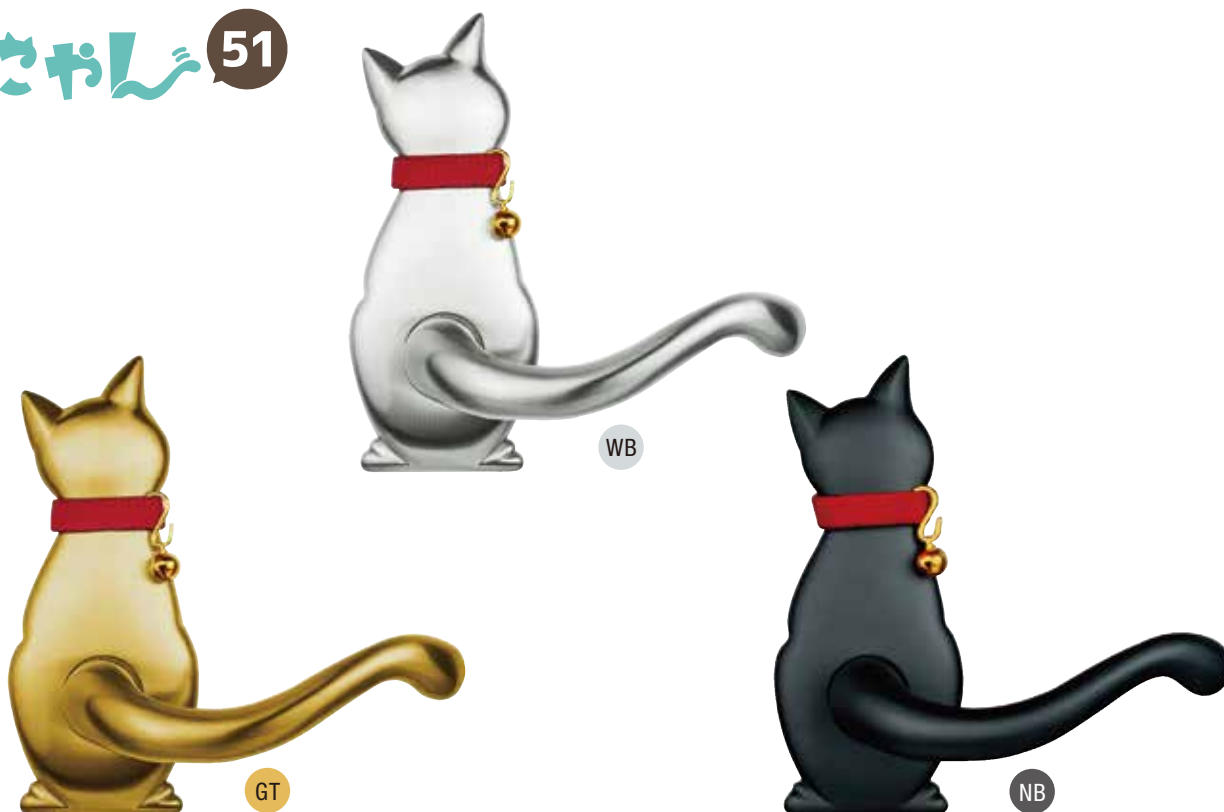


錠のフロント板(2枚入): W22.5×H57mm, W25×H57mm

- 材 質：亜鉛合金(レバーハンドル)
 ■仕 上：GT(チタンゴールド)メッキ／WB(ホワイトブロンズ)メッキ
 NB(つや消し黒)塗装
 ■標準扉厚：30～36mm ■レバーハンドル操作角度：25度
 ■バックセット：51mm



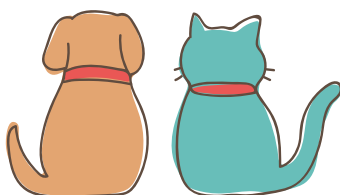
にゃん 51



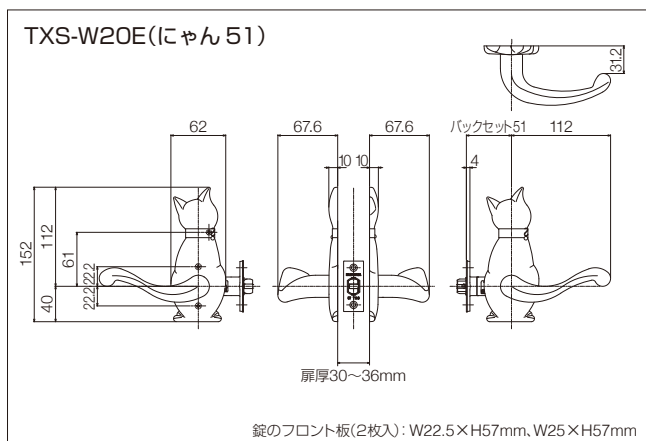
TXS-W20E

バックセット 51mm の錠に取り付けられるように、
 座が細身にデザインされています。

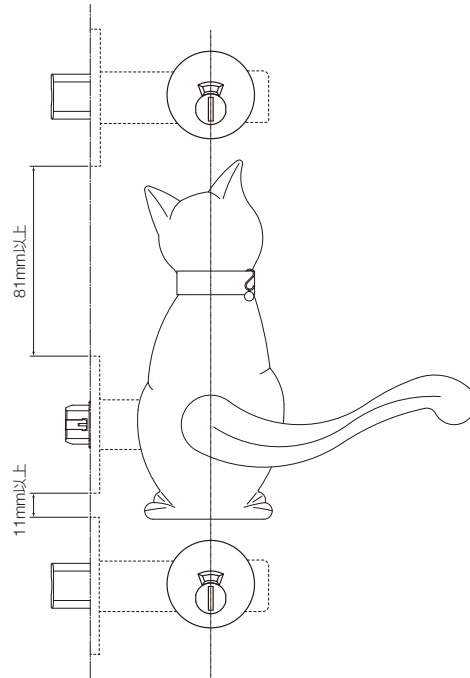
バックセット 60mm 仕様もあります。(P51 参照)



© 2016 Illustration by ryouzen



- 鍵が必要な場合は、リヴィエール本錠(P66)、間仕切用本錠(P67)、表示用本錠(P67)と組み合わせてご使用できます。
- 本体と本錠が干渉する場合があるため、にゃん 51 との組み合わせ時は、本体の上部に本錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が 81mm 以上、本体の下部に本錠を取り付ける場合は、錠フロント板との間隔が 11mm 以上あることを確認してください。
- 他社の本錠をご使用の場合は、本図の寸法をご確認いただき、干渉にご注意ください。





WB



WB



GT



NB



GT



NB

FW01

FW02

© 2016 Illustration by ryouzen

取付け方法

1. 犬と猫のしっぽがフックになっています。
2. 首のリボンをお好きなものに替えられます。
3. レバーハンドルと同じ色で揃えられます。

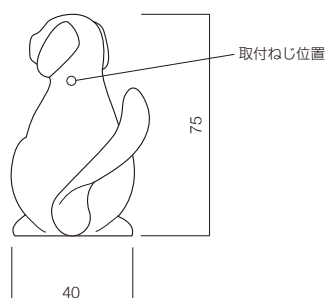
*首のリボンにつまみしては、写真と若干仕様が異なる場合がありますので御了承下さい。

- ・木ネジのきく所につけて下さい。
(柱、下地の入っている壁等)
- ・コンクリート等への取付はできません。
- ・10kg以上はぶらさげないで下さい。

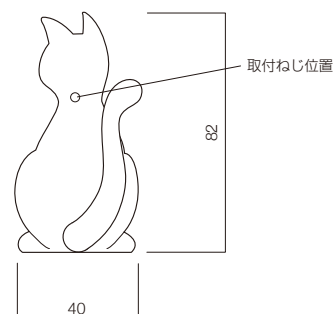
取付け手順



FW01(わんフック)



FW02(にゃんフック)

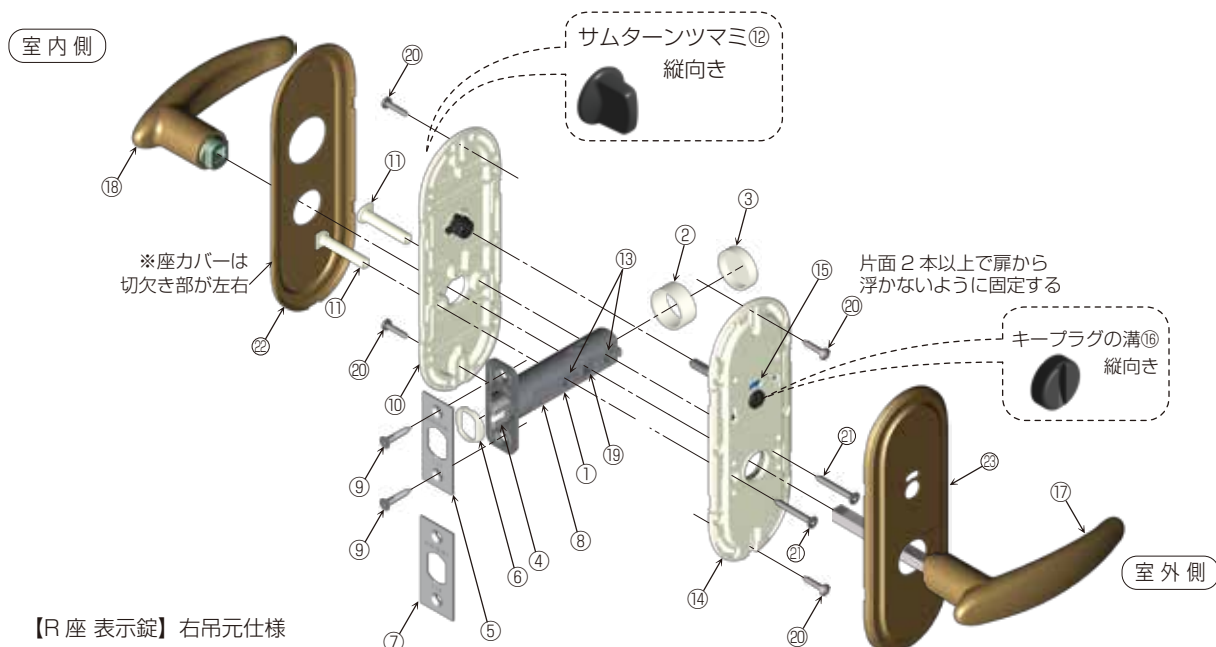


HOW TO EXCHANGE 3

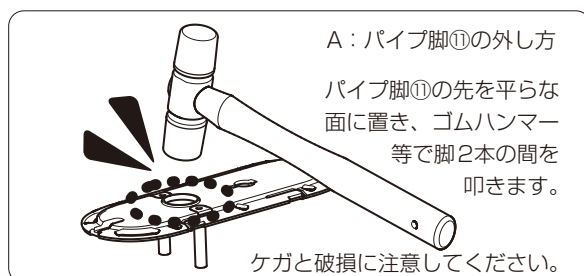
毎日使うものだから、個性と存在感あふれるレバーハンドルに。



レバーハンドルの取付方法を、取替最適品「TOMFU R 座」を例に説明します。座力バーの大きさが変わるだけで、TOMFU N座も同様です。取り付けの際は、必ず手動プラスドライバーをご使用ください。



【R 座 表示錠】右吊元仕様



A：吊元の確認と錠の取り付け P49「A：吊元の確認と錠の取り付け」を参照し、取り付けてください。

【パイプ脚⑪なし】TOMFU シリーズの長座仕様は、補強座⑩にパイプ脚⑪なしでも取り付けられます。既存金物からのお取り替えなどで、既に扉の正面に穴が開いており、穴の幅が40 mm以下の場合はパイプ脚⑪は不要です。パイプ脚⑪を誤って取り付けしてしまった場合は、左上「A：パイプ脚⑪の外し方」を参考に、脚の先を机の下などの平らな面に置き、ゴムハンマーなどでパイプ脚 2 本の間を叩くと外せます(ケガと破損に注意してください)。

【パイプ脚⑪あり】新規取付で、同梱取説どおりの穴を開ける場合は、パイプ脚⑪を取り付けます。部材の芯出しが容易になります。

- B：座の取り付け
- 【パイプ脚⑪なし】1. 室内側補強座⑩を室内側にセットします(サムターンツマミ⑫は縦向き)。
- 【パイプ脚⑪あり】1. パイプ脚⑪を室内側補強座⑩の脚部にセットし、錠ガイド穴⑬に差し込みます(サムターンツマミ⑫は縦向き)。
2. 室外側補強座⑭をセットします(表示錠の時、表示⑮は青、キープラグ溝⑩は縦向き、シリンダー付間仕切錠の時、表示⑮は青、キープラグ溝⑩は縦向き、シリンダー付間仕切錠の時、表示⑮は青、キープラグ溝⑩は縦向き)を参考にセットしてください。
- ※ 角芯棒付レバーハンドル⑯と反対側レバーハンドル⑰を錠角穴部⑱へ仮セットし、錠①が正常に作動することを必ず確認して下さい。レバーハンドル⑯⑰の仮セットで補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。
3. 補強座の固定位置を確認し、補強座⑩⑭を、固定ねじ(L=16)⑳4～8本と、引っ張りねじ(L=30)㉑2本(パイプ脚⑪を使用しない場合は不要)で取り付けます。
- ※ 補強座固定ねじ㉑の取り付け位置は、扉の穴に影響なく取り付けが可能です。扉から浮かないように取り付けしてください。
4. 仮固定のレバーハンドル⑯⑰を外し、座力バー㉒㉓を嵌め込みます。『切欠き部が左右』に注意してください。

C：ワンタッチレバーハンドルの取り付け

P49「C：ワンタッチレバーの取り付け」を参照し、取り付けてください。TOMFUシリーズではスペーサーは不要です。